

## 安全データシート (SDS)

### 1. 物質または混合物及び会社情報

**製品名** : デービーボンド DB 1U14RN

製品の名称 : 二液ウレタン反応 形接着剤  
製造会社名 : ダイアボンド工業株式会社  
住所 : 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085  
担当部門 : 品質管理課  
電話番号 : 046-285-0985  
Fax 番号 : 046-286-4292  
メールアドレス : dbtec@dbbond.co.jp  
緊急連絡先 : 046-285-0985 (担当部門に同じ)  
推奨用途及び使用上の制限 : 接着用途に限る

### 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 特にない

#### GHS分類

物理化学的危険性	:	分類対象外
健康に対する有害性		
急性毒性 (経口)		区分外
急性毒性 (経皮)		分類できない
急性毒性 (吸入:ガス)		区分4
急性毒性 (吸入:蒸気)		分類できない
急性毒性 (吸入:粉塵)		分類対象外
急性毒性 (吸入:ミスト)		分類対象外
皮膚腐食性/刺激性		区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2A
呼吸器感作性		区分1
皮膚感作性		区分1
生殖細胞変異原性		区分外
発がん性		区分外
生殖毒性		区分外
特定標的臓器毒性 (単回暴露)		区分3
特定標的臓器毒性 (反復暴露)		区分1
吸引性呼吸器有害性		分類できない
環境に対する有害性		
水生環境有害性 (短期間)		区分外
水生環境有害性 (長期間)		区分外
オゾン層への有害性		分類対象外

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### ラベル要素

絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 吸入すると有害
	: 皮膚刺激
	: 強い眼への刺激
	: アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
	: 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
	: 呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれ
	: 長期又は反復曝露による臓器の障害（呼吸器）

## 注意書き

## [安全対策]

使用前に取扱い説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。  
熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地しアースを取ること  
防爆型の電気器具／換気装置／照明機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用する事  
静電気放電に対する措置を講ずること。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。  
取扱後は手を良く洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
汚染された作業着は作業場から出さないこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

## [救急処置]

火災の場合：消火するために、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火器または二酸化炭素を使用すること。  
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。むりに吐かせないこと。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを使用して容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡をすること。  
皮膚に付着した場合：皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当を受けること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。  
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断・手当を受けること。  
気分が悪い時は、医師の診断・手当を受けること。  
漏出物を回収すること。

## [保管]

換気の良い場所で保管すること。容器を密栓しておくこと。

## [廃棄]

内容物や容器を、地方自治体の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

### 3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物
化学名又は一般名	: 二液ウレタン反応 形接着剤
主成分	: ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート
成分及び含有量	

化学名又は一般名	CAS No.	PRTR 法				労働安全衛生法		含有率 (%)
		特定一種	一種	二種	非該当	該当	非該当	
ホリメレンホリフェニルホリソシアネート	社外秘				○		○	50~60
メレンビス (4,1-フェニル) ソシアネート	101-68-8		○			○		44
合 計								100%

#### 4.応急処置

- 吸入した場合：患者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合速やかに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等は速やかに脱ぎ捨てる。触れた部位は多量の水と石鹸で洗い流す。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：流水で最低 15 分間洗眼した後、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させ、口の中をよく洗い直ちに医師の診断を受ける。

#### 5.火災時の措置

- 消火剤：粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：水
- 特定の消火方法：付近の着火源を絶ち、保護具を着用して風上から消火する。
- 消火を行なう者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、呼吸保護具、保護眼鏡等の保護具を着用する。

#### 6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：適切な保護具を着用した作業員以外は退避させ、漏れた場所の換気をよくする。漏出物は直接皮膚に触れないようにする。
- 除去方法：少量の場合は、乾燥砂、おがくず等に吸収させ、蓋付きの容器等に回収する。  
多量に漏出した場合は、土砂等で流出防止し、出来るだけ液体を容器に回収する。回収容器は密閉してはならない。  
回収後の床は中和、除害し、十分水洗いする。  
付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処理をする。

#### 7.取扱い及び保管上の注意

(消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等の関係法規に準拠して作業する。)

- 取扱い：取扱いの際は、付近に着火源の無いことを確認する。  
容器には破損のないことを確認し、転倒、落下に注意する。  
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。  
加温して使用する場合は、適切な換気状態で取り扱う。  
イソシアネートと反応する水等の物質との接触には十分注意する。  
取扱いは、地下浸透や汚染を防止するためシートなどを敷いた場所で行う。
- 保管：直射日光を避け、容器を密閉し 5℃～35℃で保管する。  
容器を開放した後は、乾燥窒素で置換し密閉保管する。

雨水の混入、浸水の恐れのない場所に保管する。  
保管場所は火気厳禁とする。

## 8. 暴露防止及び人に対する保護措置

設備対策：屋内作業場での私用の場合は発生源の密閉化、また、局所排気装置の設置を行い、蒸気が滞留しないようにする。  
床材は不浸透性の材料とする。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

化学名又は一般名	ジフェニルメタン-4,4'-ジイソシアネート (MDI)
管理濃度	未設定
許容濃度 日本産業衛生学会 (2012年度版)	0.005ppm 0.05mg/m <sup>3</sup>
ACGIH (TLV) (2012年度版) STEEL	0.005ppm 知見無し

### 保護具

呼吸保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。  
保護眼鏡：保護眼鏡を着用する。  
保護手袋：ゴム製等の不浸透性保護手袋を着用する。  
保護衣：長袖作業衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状：粘稠液 (20℃中)  
色：茶褐色  
臭い：ほとんど無し (20℃中)  
pH：測定できない

### 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点：データなし  
引火点：223℃  
発火点：データなし

### 爆発特性

爆発限界：上限：データなし 下限：データなし

蒸気圧：0.001 Pa (25℃)

蒸気密度：空気より大

### 溶解性

溶媒に対する溶解性：キシレン、トルエン、酢酸エチル、アセトンに可溶。水に難溶。

比重：1.2～1.3 (20℃)

## 10. 安定性及び反応性

安定性：窒素ガス等不活性ガスで置換された密閉容器内においては常温で安定である。  
危険有害反応可能性：空気中の湿気と徐々に反応し、表面より固化する。  
避けるべき条件：アルコール・アミン・水・アルカリ・第3級アミン等により重合反応する。  
混触危険物質：アルコール・アミン・水・アルカリ・第3級アミン  
危険有害な分解生成物：窒素酸化物 (焼却時)

## 11.有害性情報

	MDI
急性毒性 <sub>経口</sub> (LD50)	>5000 mg/kg
急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性 (吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性 (吸入:粉塵:ミスト)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反腹暴露)	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外

## 12.環境影響情報

生体毒性	: 混合物としての知見無し
残留性・分解性	: 混合物としての知見無し
生体蓄積性	: 混合物としての知見無し
土壌中の移動性	: 混合物としての知見無し

## 13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 産業廃棄物 (廃油と廃プラスチック類の混合物) として許可の受けた専門業者に委託する。  
 焼却時に有害ガスの発生を伴うので、焼却設備には排ガス処理設備が必要である。  
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様にする。
- 汚染容器・包装 : 産業廃棄物として許可の受けた専門業者に委託する。  
 その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法規制の定めるところに従う。

## 14.輸送上の注意

- 容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。火気厳禁。その他、消防法、船舶安全法等の法令の定めるところに従う。
- 国連番号 : 該当せず  
 国連品名 : 該当せず  
 輸送における危険物有害性クラス : 該当せず  
 容器等級 : 該当せず

## 15.適用法令 (化学製品に特に適用される法規制)

- 消防法 : 危険物第四類第四石油類 (危険等級Ⅲ)  
 労働省安全衛生法 : 引火性のもの・通知対象化学物質 メチレンビス (4,1-フェニル) ジイソシアネート  
 P R T R 法 : 通知対象化学物質 メチレンビス (4,1-フェニル) ジイソシアネート  
 有機溶剤中毒予防規則 : 該当せず  
 船舶安全法 : 該当せず

その他、地域の法規制の定めるところに従う。

## 16.その他の情報

参考資料 : 国際化学物質安全性カード (ICSC)  
安全データシート作成指針 (日本化学工業協会)  
接着剤の安全データシート作成手引き (日本接着剤工業会)  
溶剤ポケットブック (オーム社)  
JIS Z 7250 (日本規格協会)  
原材料メーカーの安全データシート

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の実用を目的としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

# 特定の化学物質不使用情報シート

会社名                   ダイアボンド工業株式会社  
住 所                   神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085  
担当部門               厚木工場 品質管理課  
電話番号   046-285-0985   FAX 番号 046-286-4292  
[管理番号]               作成                   2009年12月10日

[製品名]                   デービーボンド   DB 1U14RN

## [本シートの使用法]

弊社では平素より製品の物質管理及び情報収集に努めております。また情報は国内法の規定に従い SDS に記載して、お客様にお届けして参りました。しかし海外法等の規定から、特定の化学物質の詳細な含有情報をご要求頂く事が増えております。本シートはこのようなご要求にお答えして、SDS を補完する目的で作成しました。

## [製品中の特定の化学物質含有調査]

主要海外法規の規制物質を中心に調査いたしました。

物質群名	使用の有無	分析値
カドミウム及びその化合物	無	
六価クロム化合物	無	
鉛及びその化合物	無	
水銀及びその化合物	無	
TBT類、TPT類	無	
TBTO	無	
塩化パラフィン(短鎖)	無	
PBB類	無	
PBDE類	無	
PCB類	無	
ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	無	
アスベスト類	無	
特定アゾ化合物	無	
オゾン層破壊物質	無	
放射性物質	無	
ホルマリン	無	

\* 意図的に添加したことでの使用の有無を記載しました。

\* 分析をおこなっている物については分析値として記載しています。

[その他]   以下の国内法上管理要求されている物質の含有量は安全データシート(SDS)を参照下さい。

◎化管法   ◎安衛法(通知対象物質)   ◎毒劇法(毒劇物)

本製品は下記国内法で製造・輸入を禁止されている物質を意図的に添加していません。

◎ 化審法(第1種特定化学物質)   ◎安衛法(製造禁止物質)   ◎毒劇法(特定毒物)